

|           |   |       |       |
|-----------|---|-------|-------|
| 講義名       | 財務会計特論  |       |       |
| 科目区分      | 特論科目  |       |       |
| 担当教員      | 井上 定子   |       |       |
| 開講期・曜日・時限 | 前期 木曜日 2時限  |       |       |
|           | 2018年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) / 2017年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) / 2016年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) / 2015年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) |       |       |
| 履修開始年次    | 1年生   | 単位数   | 2     |
|           |   | 講義コード | 42502 |

### 主題と概要

一般に会計とは、営利を目的とした企業が行う経済活動を財務的な側面から捉え、財務諸表を作成し、開示する手続きをいいます。本講義では、投資者や債権者といった企業外部の利害関係者の意思決定に役立つことを目的として会計情報を作成する財務会計について取りあげます。

### 到達目標

会計情報は、簿記システムに基づいて記録および集計され、会計制度上の制約のもとで、貸借対照表や損益計算書といったような財務諸表に集約されます。財務諸表がどのようにして作成され、どのように社会において活用されるのかという点を明らかにすることによって、企業会計の基礎を理解することが本講義の目標です。

### 提出課題

講義内容の理解度により、適宜実施することがあります。

### 評価の基準

中間試験 (45%)  
 定期試験 (45%)  
 講義への貢献度 (10%) : 講義への参加意欲、受講態度や発言など

以上の3項目を加味して最終評価を行います。

なお、中間試験および定期試験については、記述式試験あるいはレポート試験のいずれかで実施する予定です。

### 履修にあたっての注意・助言他

簿記の基礎知識(日商簿記検定3級程度の知識)があることが望ましいと考えます。

### 教科書

使用テキストは現在未定です。講義中に指示します。

### プリント資料及び参考文献

プリント資料は、適宜講義中に配布します。  
 また、参考文献は、適宜、講義中に紹介します。

### 授業計画

1. 会計の基礎(1)
2. 会計の基礎(2)
3. 財務会計の基礎(1)
4. 財務会計の基礎(2)
5. 財務諸表の仕組み
6. 棚卸資産の会計
7. 固定資産の会計
8. 金融資産の会計
9. 負債の会計
10. 純資産の会計
11. 収益と費用の会計(1)
12. 収益と費用の会計(2)
13. 財務諸表分析(1)
14. 財務諸表分析(2)
15. 財務諸表分析(3)

\* 中間試験を行う場合は、講義中に実施します。  
 \* 講義の進捗度により上記の計画が前後することがあります。

### 予習・復習

予習  
 必ず、講義を受ける前に当該資料やテキストを読み、疑問点や質問を考えてきてください。

復習  
 講義中に、講義内容の理解を確認するために演習課題を実施することがあります。これを自身の理解度を確認する目安に

### 備考